

しょうひせいかつ かつどうほうこく こども消費生活サポーター活動報告

せいさんしゃほうもん

第2回生産者訪問

すぎいしゅどう
杉井酒造

2022. 12. 3(土)

12 つくる責任
つかり責任



こくさいもくひょう
国際目標SDGs

12 6Rを推進し、
廃棄物を削減する

ふじえだばん
藤枝版ローカルSDGs

『こども消費生活サポーターは、
「つくり手」(生産者)と「つかい手」(消費者)をつなぎます』

12月3日(土)に杉井酒造(小石川町4-6-4)を訪問しました。

こだわりのお酒造りへの思いやお酒造りと農業とのつながり、酒粕の再使用や再利用の取組による廃棄物の削減などについて説明を受けました。

サポーターは、お酒造りに関する質問の他、お酒の容器として使われている環境にやさしいリターナブルびんについても質問しました。

○サポーターが感じた「つくり手」(杉井さん)の思い

- 昔ながらの伝統のつくり方を大事にしていきたい
- 酒粕やびんを無駄にしない(廃棄物の削減)
- 地域の農家さんと連携して取り組んでいきたい
- 海外の人たちにも日本酒の良さを知ってもらいたい



○サポーターが「つくり手」に伝えたいこと

- こだわりをもって伝統のお酒造りを続けてくれていることに感謝したい
- 海外にも杉井さんのお酒が広まってほしい
- 環境に配慮した取り組みがすごいと思ったから、これからも続けてほしい

☆アクション宣言☆

～消費者としてのこれからの行動～

- みんなで協力して、作ったり、守ったりすることの大切さを知った。
- 環境に配慮したお酒造りだったから、自分もエコの気持ちを大事にしたい。
- お酒造りの大変さやつくり手の思いがわかったからこそ、してあげられることがあると思う。
- 昔ながらの造り方を後世に伝えるために、なんでも新しいものを追求するのではなく、受け継がれてきたことを守るのも大事だと考えた。
- お酒造りと農業がつながっているのだから、農業を手伝ってお酒造りの役に立ちたい。

